

検査ニュース No.170

ご挨拶

平素より佐賀県医師会成人病予防センター業務にご協力及びご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回は、「活性化部分トロンボプラスチン時間（APTT）の報告値変更」、「麻疹ウイルス検査に関する案内」についてです。

佐賀県医師会成人病予防センター
担当理事 志田 正典

●活性化部分トロンボプラスチン時間（APTT）の報告値変更

（平成 28 年 10 月 1 日ご依頼分より）

APTT は、止血スクリーニング検査、術前検査、出血性疾患患者の診断や治療経過判定、ループスアンチコアグラントや抗凝固療法の指標に用いられ、特にヘパリンを用いた抗凝固療法のモニターとして広く普及しています。

今回、測定機器の更新により、180.0 秒までの凝固時間報告が可能となりました。

案内書掲載頁	項目コード No.	検査項目	変更内容	新	現
54	322	活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)	報告値 (秒)	0.0~180.0 180.0以上	0.0~70.0 70.0以上

●麻疹ウイルス検査に関する案内

このたびの麻疹流行に伴い「麻疹ウイルス」HI 法及び NT 法の測定試薬が流行状況によっては不足することが予測されます。

つきましては、今後、検査報告遅延や一時受託中止が発生することが想定されますので、ご案内いたします。

「医療機関での麻疹対応ガイドライン（第六版：暫定改訂版）」[平成 28 年 5 月 26 日国立感染症研究所感染症疫学センター]の「麻疹に対する免疫の有無を確認するための抗体価測定方法」において、『酵素抗体法（EIA 法）またはゼラチン粒子凝集法（PA 法）を用いる。』と記載されています。

案内書掲載頁	項目コード No.	検査項目	保険点数	検査方法	ワクチン接種の目安となるウイルス抗体価
65	1997	麻疹IgG	219 ※5	EIA	(-)、(±)もしくは6.0(+)-8.0(+) より低値の抗体価
掲載なし	1890	麻疹(PA)*	-	PA	「陰性」もしくは「16倍、32倍、64倍」 の低い抗体価

※5免疫学的検査

*麻疹 (PA) は、検診検体および麻疹ワクチン接種抗体価確認用としての検査項目のため
基準値設定はございません。

お知らせ

eGFR は、血清クレアチン値と年齢・性別から、腎臓の働き (GFR (糸球体ろ過量) 推算値) を算出します。

特定健康診査では、当該年度末現在の満年齢となりますので、これから誕生日を迎え、当該年度末 (3 月 31 日) までに 70 歳になる場合は、受診時に 70 歳 として計算します。

ヘルスサポート事業をご利用いただいている医療機関様は、医療でお返りする eGFR と特定健診でお返りする eGFR が異なる場合がありますのでお知らせいたします。

